

| | | | | |
|--------------------|---|--|--------|-----|
| 科目名 Course Name | こころとからだのしくみⅡ Physical and Emotional Mechanisms II | ナンバリング No. | J1-013 | |
| 年次 | 1年 | 期別 | 前期 | 単位数 |
| 担当者氏名 | 茂木 香織 | | | |
| 連絡方法 | C-Learning に対応。 | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程必修) | | | |
| 関連 DP | DP2, DP5, DP6 | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>人間はどのようなメカニズムで、食事や排泄を行い、関係する器官の機能はどのようなしくみになっているのか。そして、こころとからだはどのように関係するのかといった、介護の基礎知識となるこころとからだのしくみを学び、介護に関連付けて理解できるようにする授業である。</p> <p>①食事および排泄に関するからだの構造と機能を、説明できるようにする。 ②正常な食事・排泄の状態と異常な状態を、比較できるようにする。 ③食事と排泄がこころに与える影響を説明できるようにする。 ④日本人の死の概況と、現代の死の特徴を説明できるようにする。 ⑤人生の最終段階に起こるからだの変化を、列挙できるようにする。</p> | | | |
| 授業の方法 | 講義やグループディスカッションを通して、食事および排泄の意義や重要性、支援する際に関連するからだの構造や機能、さらには人生の最終段階にある人のこころとからだについて学ぶ。 | | | |
| 学習成果 | L01 | | | |
| | L02 | ①食事および排泄に関わる器官の名称と主な機能を説明することができる。 ②死を身近なものとして認識し、人生の最終段階にある人のこころとからだの変化について説明することができる。 | | |
| | L03 | 心身の機能低下が食事・排泄におよぼす影響を説明することができる。 | | |
| | L04 | | | |
| 課題に対するフィードバック | 課題レポートは、提出後内容を確認し、コメントを記載して返却する。試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。 | | | |
| 教科書/参考図書 | ①最新・介護福祉士養成講座 第11巻「こころとからだのしくみ」中央法規出版 ②「ぜんぶわかる人体解剖図」成美堂出版 <こころとからだのしくみⅠと同じ> | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | 授業には積極的に参加することを望む。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。 | | | |
| 担当教員の実務経験 | 実務経験(職種:看護師 職歴:通算24年) 医療機関や介護施設での看護師としての経験を、からだのしくみ等を説明する時に活かす。 | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。 | | 20 | | |
| レポート/作品 | DVDを鑑賞し、何を感じたか についてのレポートを課題とする。 | | 10 | | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや、穴埋め問題、言葉の意味を説明する問題等。 | | 40 | 20 | |
| その他 | 「食事・排泄日誌」を3日間記載する。評価基準Sは、1日毎の食事時間と内容、排泄時間と性状、気付きを的確に記載している。さらに、食事と排泄の関係性に気づき明確に記載できている。 | | | 10 | |
| 合計 | | | 70 | 30 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) 食事の意義 |
| | 事前・事後学習 | なぜ、食事をするのかを考え、テキスト等を使って調べ、ノートに整理する。 |
| 2 | 授業内容 | 食事に関連したところとからだのしくみ 食べることに関連したからだのしくみ |
| | 事前・事後学習 | 消化器の図をノートに転記し、名称を調べて記載する。 |
| 3 | 授業内容 | 消化器の解剖と生理① 口腔、食道、胃の解剖と機能 視聴覚教材「驚異の小宇宙 人体 消化吸収の妙 ～胃・腸～」の視聴 |
| | 事前・事後学習 | 嚥下のしくみを調べ、ノートに記載してくる。 |
| 4 | 授業内容 | 消化器の解剖と生理② 小腸、大腸、肝臓、胆のう、膵臓の解剖と機能 |
| | 事前・事後学習 | 前々回記載した消化器の図に、機能を追加して記載する。 |
| 5 | 授業内容 | 食事内容と栄養 栄養素、エネルギーの摂取基準 |
| | 事前・事後学習 | 自分の身長・体重から適正体重を導き出し、1日の必要エネルギーと栄養素を調べる。 |
| 6 | 授業内容 | 食事に関する機能低下の原因と影響 加齢、疾患、障害 |
| | 事前・事後学習 | 加齢や障害により起こる、食事に関する影響を考えノートに記載してくる。 |
| 7 | 授業内容 | さまざまな食事形態と代償的な栄養摂取法 食事に関する多職種連携 |
| | 事前・事後学習 | 食事の形態の種類を調べ、分類して記載する。 |
| 8 | 授業内容 | 排泄に関連したところとからだのしくみ 腎・泌尿器の解剖と機能 |
| | 事前・事後学習 | 排泄に関する臓器をノートに転記し、名称を調べて記載する。 |
| 9 | 授業内容 | 排泄のしくみ 正常な尿と排尿状態、尿と排尿の異常、正常な便と排便状態、便と排便の異常 |
| | 事前・事後学習 | 今までに排泄で困ったこと、異常な状態になったことなどをノートに記載する。 |
| 10 | 授業内容 | 排泄に関する機能低下の原因と影響 排尿・排便の障害、さまざまな排泄形態、医療職との連携 |
| | 事前・事後学習 | 排泄の異常があった際に、どのような対応をしていたか、家族にも聞き、まとめる。 |
| 11 | 授業内容 | 尊厳にかかわる排泄の介護【グループディスカッション・発表】 <課題:食事・排泄日誌 提出は第13回> |
| | 事前・事後学習 | 自分の食事・排泄を3日間調べ、感想とともにレポートにまとめる。 |
| 12 | 授業内容 | 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ 日本人の死亡の状況(統計) 死のとらえ方 |
| | 事前・事後学習 | 引き続き自分の食事・排泄を調査し、感想とともにレポートにまとめる。 |
| 13 | 授業内容 | 現代の死の特徴と日本人の死生観 死に対するところの変化 終末期にある人のからだの変化① |
| | 事前・事後学習 | 身近な死を思い出し、自分が知る「死とは」どのようなものかを記載する。 |
| 14 | 授業内容 | 終末期にある人のからだの変化② 危篤時、臨終期、死後のからだの理解 |
| | 事前・事後学習 | 授業で学んだ、人生の最終段階にある人のからだの変化についてノートに整理する。 |
| 15 | 授業内容 | 視聴覚教材の視聴 <レポート課題 授業内に提出> 授業のまとめと試験対策 |
| | 事前・事後学習 | 授業のレポート課題を仕上げる。試験に向けた学習を行う。 |